

2 農業産出額及び生産農業所得（都道府県別推計）

(1) 都道府県別農業産出額（上位5道県）

令和2年における農業産出額の上位5道県（以下単に「上位5道県」という。）は、1位が北海道で1兆2,667億円（対前年増減率0.9%増加）、次いで鹿児島県が4,772億円（同2.4%減少）、茨城県が4,417億円（同2.7%増加）、千葉県が3,853億円（同0.2%減少）、熊本県が3,407億円（同1.3%増加）となっている。

表1 上位5道県の農業産出額の推移

都道府県	平成23年	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	
										実数	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	%
合計	83,455	86,106	85,748	84,279	88,631	93,051	93,787	91,283	89,387	89,557	0.2
うち北海道	10,137	10,536	10,705	11,110	11,852	12,115	12,762	12,593	12,558	12,667	0.9
鹿児島	4,069	4,054	4,109	4,263	4,435	4,736	5,000	4,863	4,890	4,772	△ 2.4
茨城	4,097	4,281	4,356	4,292	4,549	4,903	4,967	4,508	4,302	4,417	2.7
千葉	4,009	4,153	4,141	4,151	4,405	4,711	4,700	4,259	3,859	3,853	△ 0.2
熊本	3,113	3,245	3,250	3,283	3,348	3,475	3,423	3,406	3,364	3,407	1.3

注：令和2年農業産出額における上位5道県について表章した。

(2) 上位5道県の農業産出額構成割合

上位5道県における令和2年農業産出額の構成割合をみると、茨城県、千葉県及び熊本県は耕種部門の割合が高く、北海道及び鹿児島県は畜産部門の割合が高くなっている。

また、北海道は乳用牛、茨城県、千葉県及び熊本県は野菜、鹿児島県は肉用牛の割合が最も高くなっている。

平成23年と比較すると、各道県とも畜産部門の割合が上昇している。

図1 部門別構成割合の比較（北海道）

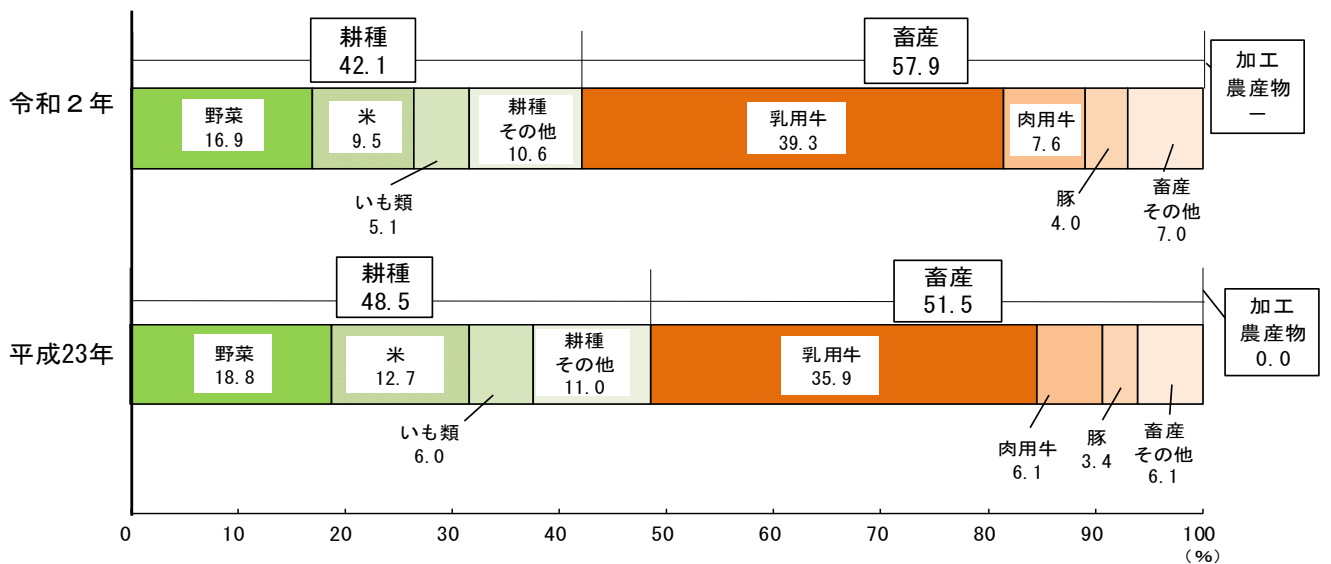


図2 部門別構成割合の比較（鹿児島県）

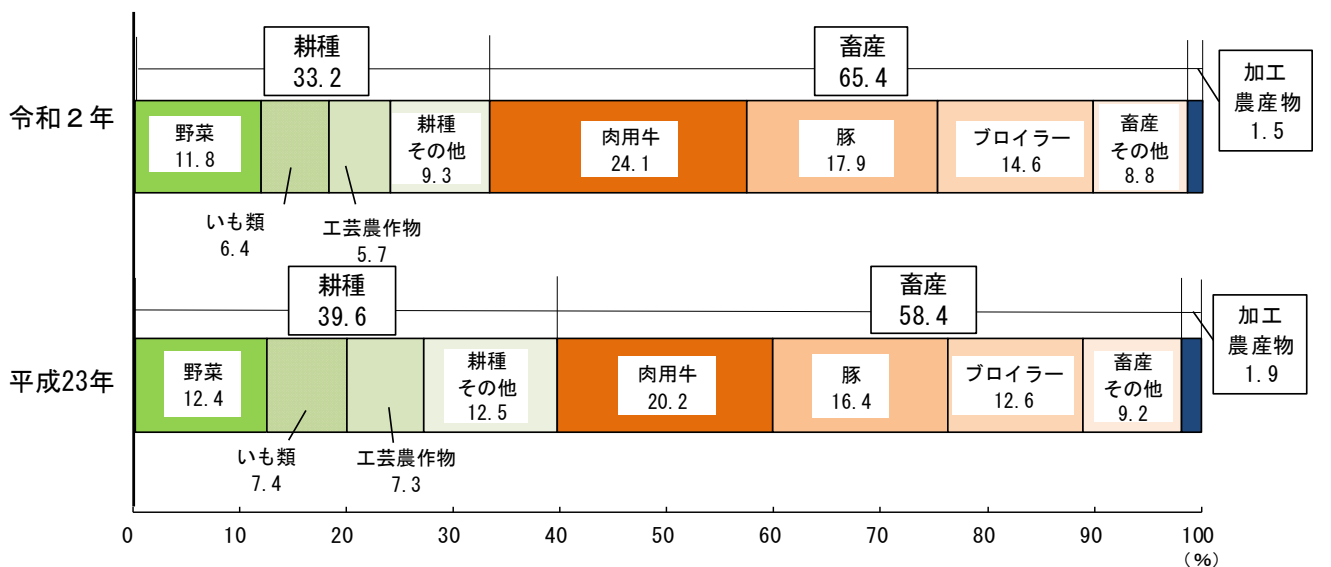


図3 部門別構成割合の比較（茨城県）

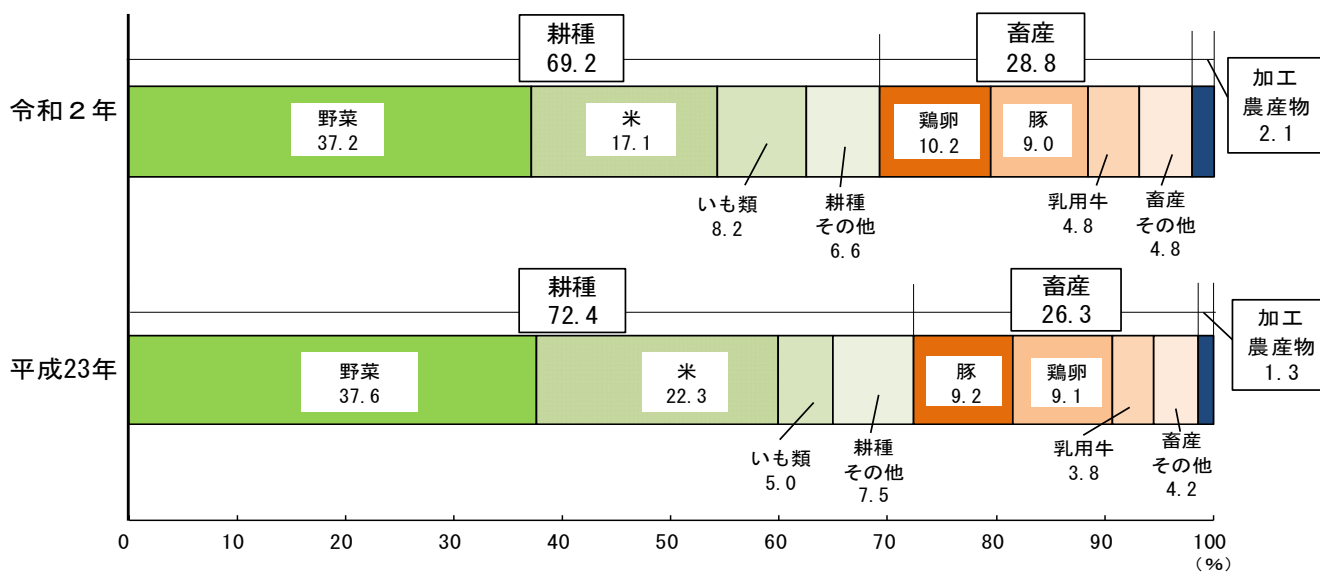


図4 部門別構成割合の比較（千葉県）

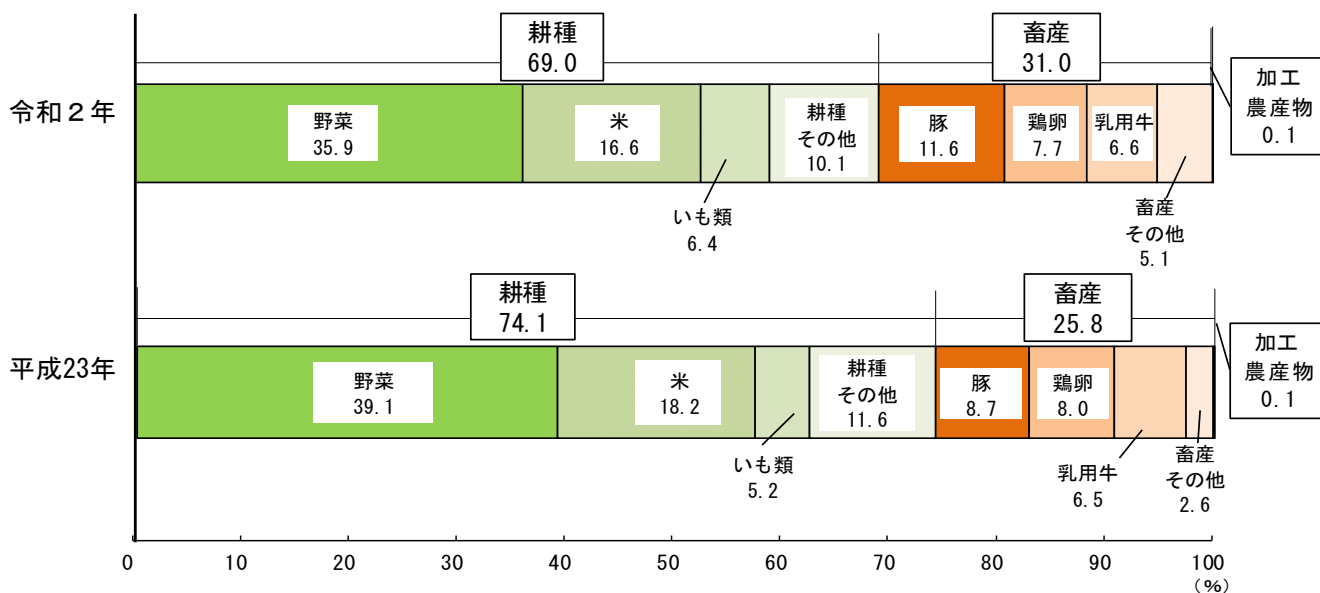
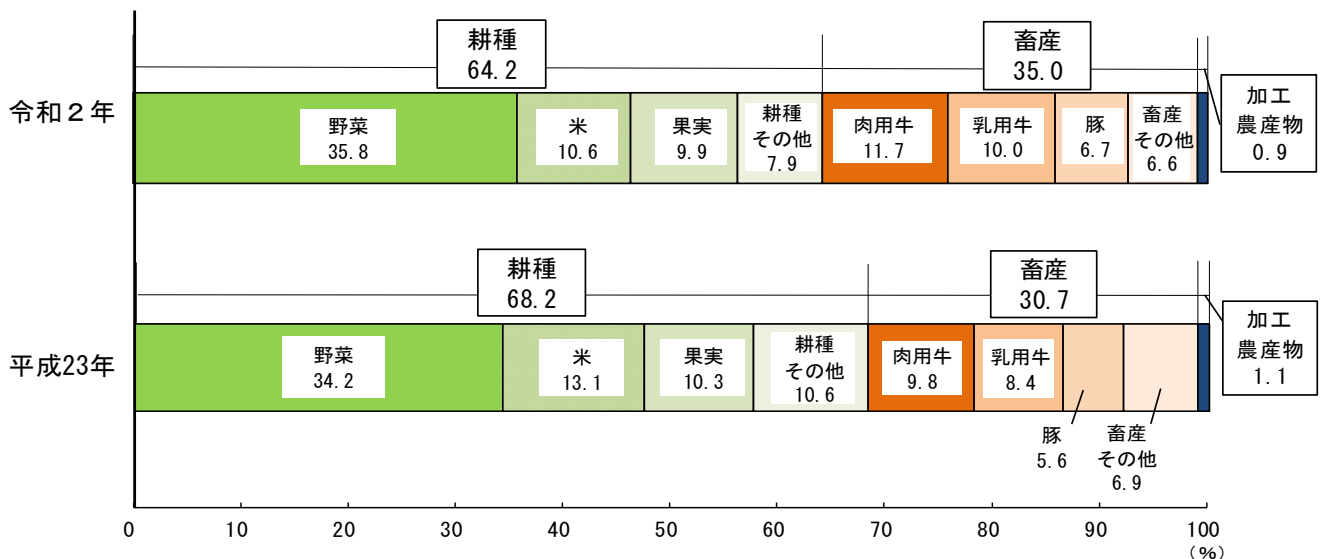


図5 部門別構成割合の比較（熊本県）



(3) 部門・品目別

ア 耕種部門における部門・品目別産出額の都道府県別割合をみると、米は新潟県（構成割合9.1%）、いも類は北海道（同27.1%）、野菜は北海道（同9.5%）、果実は青森県（同10.4%）、花きは愛知県（同16.1%）、茶は鹿児島県（同31.8%）が最も高くなっている。

イ 畜産部門における部門・品目別産出額の都道府県別割合をみると、生乳は北海道（同51.6%）、肉用牛は鹿児島県（同16.8%）、豚は鹿児島県（同13.0%）、鶏卵は茨城県（同9.9%）、ブロイラーは宮崎県（同19.3%）が最も高くなっている。

図6 部門・品目別産出額の都道府県の構成割合

